

知っ得 なっ得



金太郎 コロナ禍のいま、片付けコ

ンサルタンのところには、どんな相
談が多いのかな？

得子 聞いてみると、本とか書類を
整理したいとの相談が多いんだって。
家での仕事が多くなり、家の乱雑ぶり
が気になるんだとか。

金 そうか。どれも紙がらみだね。

得 新聞の相談もあるそうだよ。

金 新聞？

得 5紙や6紙とって熟読し、いい
記事は切り取ってファイルする。そう
なると読むペースが追いつかない。新
聞が何カ月分もたまってしまふ。どう
したらいいか——という相談。

金 その気持ち、わかるな。

得 期日を決め、その日から前の新
聞は捨てましょうと説得したそうよ。

どうしても必要な記事はスキャンして
保管してはどうかとも提案したって。

電子版の購読も勧めたとか。

金 なるほど。
得 特に相談が多いのは本が多すぎ
て困ったという人たちだって。

本の整理

要・不要の「決心」も大事

金 実は僕も、家が本だらけで困っ
ている。読んだ後、本棚に戻さず、床
にどんどん積んでいく癖がある。家で
仕事をするせいで仕事からみの本もた
まってる。椅子と机の周りに
本が積み重なり、山脈のようになって
しまっている。

得 地震が来たら避難に困るかも。
悪い癖、全然直ってないね。

金 家にあるはずの本がなかなか見
つからず、探し始めると乱雑さがさら
に悪化する。結局、ネット通販で同じ
本を注文してしまい、それが届いた
頃、あっさりで見つかったりするん
だ。あの時の情けなさといったら。

であり、見る者に
時間というものの
有限性を厳しく
フツけるだろう。猫は
まるで憐れむかのような
表情でそこにたたずむ。

イラスト・深川直美

得 ネット通販は便利だから。便利
すぎて困っちゃうほど。

金 いまは古本も注文できるから、
本の数がますます増える。たまに一大
決心をして部屋の本をどかして床を拭
くと雑巾が真っ黒になる。

得 本気で本を整理するつもりなら
要る本か要らない本かを見極めない
と。収納キャバを超えるなら、手放す
か、レンタルスペースを借りるかも
しないか。紙ってかさばるから。

金 ……

得 どうしたの？

金 一言言いたい。本を捨てるとい
うのは、本好きにとっては、身を切る

ようにつらいものなんだ。

得 そりゃ、私も本は好きだけど。

金 本の重みで家の床が抜けたとい
うほどの蔵書家ぶりで有名だった作家
の井上ひさしはこう書いている。「本
は書庫からも仕事部屋からも溢れ、廊
下へ這い出し、(中略)インベーター
みたいに家中を占拠していく」。で
も、彼が本について書いたものは本へ
の愛情に満ちている。うれしくて涙が
出たよ。

得 大作家と違って、大きな書庫な
んでないでしょ。ペーパーレス化の流
れは止まらないよ。

金 それを言っちゃ、おしまいだ。
得 そういえば先日、高名な作家と
話す機会があったけど、その先生も本
があふれて困っているって。

金 先生はどんな対応を？

得 無用な本がたまったら、行きつ
けの古書店に頼んで、引き取って売り
に出してもらったって。本は用が済
んだら市場に戻し、欲しい人の手に渡
るようにすべきだよ。

金 その通りだ。要らない本を抱え
たままなのも確かにどうかと思う。

得 なら、すぐ行動に移さないと。

金 ちょっと待って。まず本当に要
らない本かどうか、一冊ずつ、じっく
り時間をかけて、考えないと……

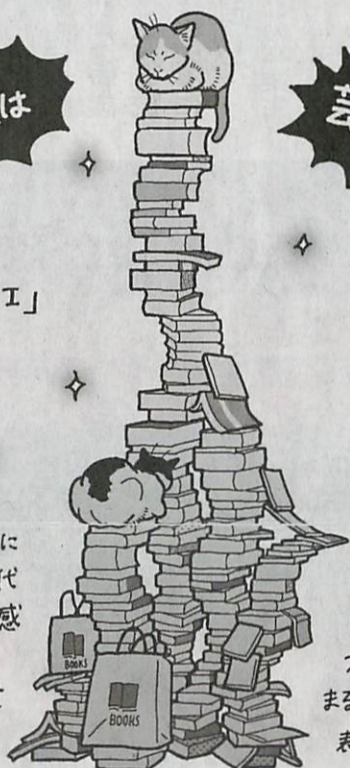
取材協力・有賀照枝さん(整理収納
コンサルタント。片付け代行業「ハー
ト・コード」代表)

(構成・小北清人) Ⅱ全4回

片付け法 ②

積み読は

芸術だ!



タイトル

「重層的レクイエム
—あるいは塔 no.1」

2021
紙、インク、猫
個人蔵

[作品解説]

本としての機能を完全に
失ったこのオブジェは、現代
社会に堆積した焦燥感
そのものようにそびえ
立つ。それはまさに大量
消費社会の基標